

何年前ですが、新幹線の速度向上試験に立ち会う機会があり、駅のホームから通過する試験列車を見たことがありました。普段見ている新幹線よりも明らかに高い速度で走り抜ける姿に驚嘆したことを覚えています。鉄道車両を高速で安全に走らせるには、技術の向上が不可欠であることを改めて感じます。

さて、今月号の特集は「走行安全性」です。言うまでもなく安全は、鉄道にとって全ての基本ともいうべきものです。車両を脱線させないための技術、脱線に至る可能性を摘み取るため

の技術などについて、最新の研究成果を紹介しました。このような技術の積み重ねが今後の鉄道の安全性向上や速度向上につながることでしょう。

さて、間もなく東日本大震災から2年たちます。1月号では「鉄道技術 来し方行く末」で地震計と警報システムについて、本号では「パテントシリーズ」で地震時脱線対策左右動ダンパーと、地震に関する話題を取り上げています。また、次号では「地震」を特集します。どうぞご期待ください。(Y.I.)